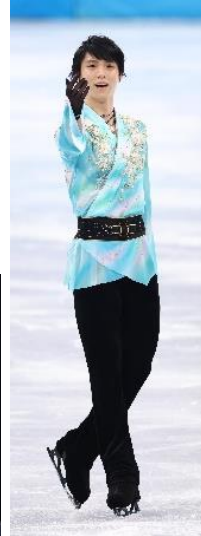




北海道・札幌

冬季オリンピック・
パラリンピック
の招致を目指しています



第4回北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック プロモーション委員会



札幌市／公益財団法人日本オリンピック委員会

－ 次第2 開催意義(SDGs、経済・まちづくり)と取りまとめ素案について －

第3回会議の振り返り

協議テーマ「レガシー」に対する委員の意見を分類・整理したもの（素案）

1 過去大会から学ぶレガシー

- 1 - 1 東京2020から北海道・札幌2030へ
- 1 - 2 長野大会から学ぶレガシー
- 1 - 3 大会のあり方のパラダイムシフト

2 まちづくりのレガシー

- 2 - 1 大会開催による市民生活の向上
- 2 - 2 競技力の向上と環境整備

3 次世代の人々に向けたレガシー

- 3 - 1 子どもや若者が主体的に大会に関わることで築くレガシー
- 3 - 2 大会への多様な関わり方

4 レガシー構築の視点、プロセスと発信の仕方

- 4 - 1 レガシー構築の視点、プロセス
- 4 - 2 わかりやすいレガシーの発信

大会開催意義の取りまとめ素案 **【別冊】**

北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック プロモーション委員会

大会開催意義の取りまとめ素案

(令和4年9月8日)

－ 次第2 開催意義(SDGs、経済・まちづくり)と取りまとめ素案について －

大会概要(案)と「SDGs(環境)」「経済・まちづくり」 との関連等について

大会概要(案)と「SDGs(環境)」との関連等について



大会概要（案）の4分野

スポーツ・健康	経済・まちづくり
社会	環境

▶ SDGsについて、特にご意見が多かった「環境」分野をご紹介します

札幌市の特徴

家庭における一人当たりのCO₂排出量が多い



ターゲット（目指すまちの姿）

次世代が豊かな自然を享受できるまち



大会概要(案)と「SDGs(環境)」との関連等について



レガシー（大会によってもたらされるもの）の一例

再生可能エネルギー利用の
社会実験を実施し、積雪寒冷地における
新たな環境技術を積極的に導入します！

多くの人々の参加を受けて
緑を育む活動を行います！

そのほかにも…

再生可能エネルギーの利活用

森林等の自然環境保全

3Rの促進

脱炭素型ライフスタイル
への転換

ゼロエミッション
自動車の普及

省エネを徹底した
建物の普及

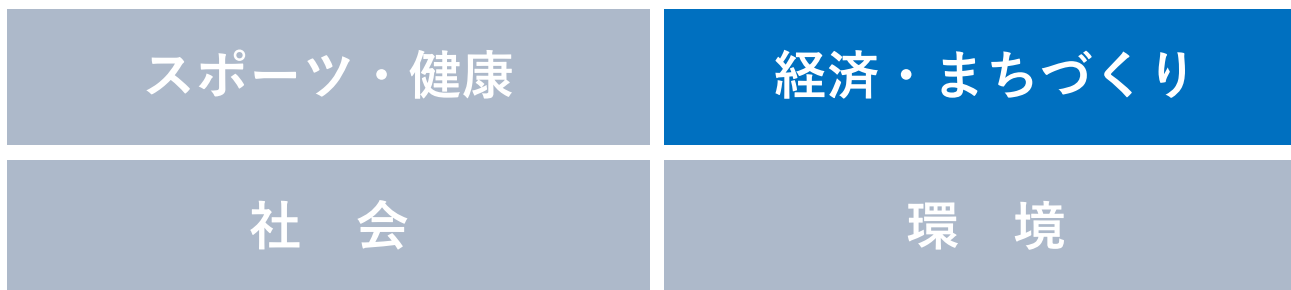
公共施設の温室効果ガス
排出量ゼロの促進

目標例

2030年までに温室効果ガス排出量を2016年比で55%削減、
2050年までに実質ゼロ

大会概要(案)と「経済・まちづくり」との関連等について

大会概要（案）の4分野



札幌市の特徴

雪まつり期間以外の冬期は観光閑散期
超高齢社会に適した交通体系の構築が必要

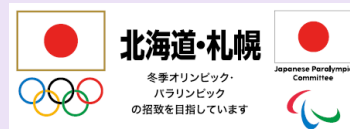


ターゲット（目指すまちの姿）

世界に躍進する魅力あふれるまちづくり



大会概要(案)と「経済・まちづくり」との関連等について



レガシー（大会によってもたらされるもの）の一例

大都市スノーリゾートとしての
ブランドを確立し、国内外から
観光需要を呼び込みます！

ICT等を活用した技術提案を
取り入れ、新たな交通体系の
実現を目指します！

そのほかにも…

「世界に誇れるスノーリゾート・
国際都市札幌」の認知

ICTを活用したシームレスで
快適な移動環境の構築

スタートアップの集積

MICEの開催都市として
定着する

施設等の老朽化対策・
まちのリニューアル

誰もが活躍できる
雇用環境の確保

目標例

2022年度年間外国人宿泊者数350万人

大会開催による経済効果

施設整備費及び大会運営費を用いて大会を実施した場合、

約7,500億円（札幌市内分は約3,500億円）

もの経済波及効果（直接的効果）が見込まれる。

そのほか、大会の影響による冬季の観光客の継続的な増加など、さらなる経済効果（レガシー効果）も見込まれる。

直接的効果（招致決定から大会までの効果）

・大会開催に関わる投資・支出により発生する需要増加額を推計して算出した経済波及効果

【需要増加額】	生産誘発額※1		粗付加価値誘発額※2		雇用者所得誘発額※3	
	全国	札幌市	全国	札幌市	全国	札幌市
施設整備費						
大会運営費						
その他観客、選手・役員などが消費する交通費、宿泊費飲食費等						
効果額	約7,500億円	約3,500億円	約4,000億円	約2,000億円	約2,000億円	約1,000億円
例	宿泊費		宿泊先でのサービス		働く人の給与	

※1 生産活動を賄うために直接・間接に発生した額 ※2 生産活動によって新たに付加された価値の総額

※3 雇用されている者に対する、労働の報酬として支払われる現金や現物の総額

－ 次第3 機運醸成とメッセージ・スローガンの策定 －

機運醸成の取組

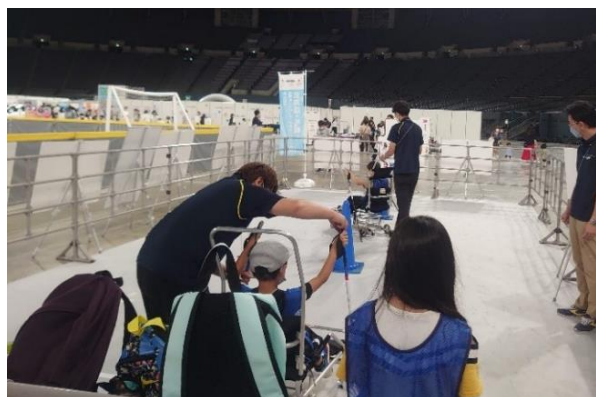
各種イベント等における機運醸成活動

- 招致期成会「総決起集会」(7月27日(水) / 京王プラザホテル)

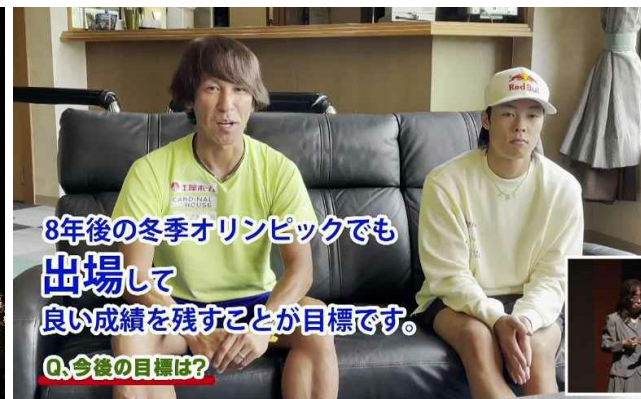


- 環境広場さっぽろ2022 (7月30日(土)・31日(日) / 札幌ドーム)

- 大ほっかいどう祭 (8月6日(土)・7日(日) / 札幌ドーム)



■ 札幌市制100周年記念式典（7月31日（日）／札幌文化芸術劇場 hitaru）



※葛西紀明 選手・小林陵侑 選手
（ビデオメッセージによる出演の様子）

■ 2022 サマージャンプ大会（8月6日（土）・7日（日）／大倉山ジャンプ競技場）



■ 東京2020パラリンピック 1周年記念イベント（8/24（水）／有明アリーナ）



■ 北海道マラソン（8月26日（金）－28日（日）／大通公園）



■ モエレ沼芸術花火2022 (9/3 (土) /モエレ沼公園)

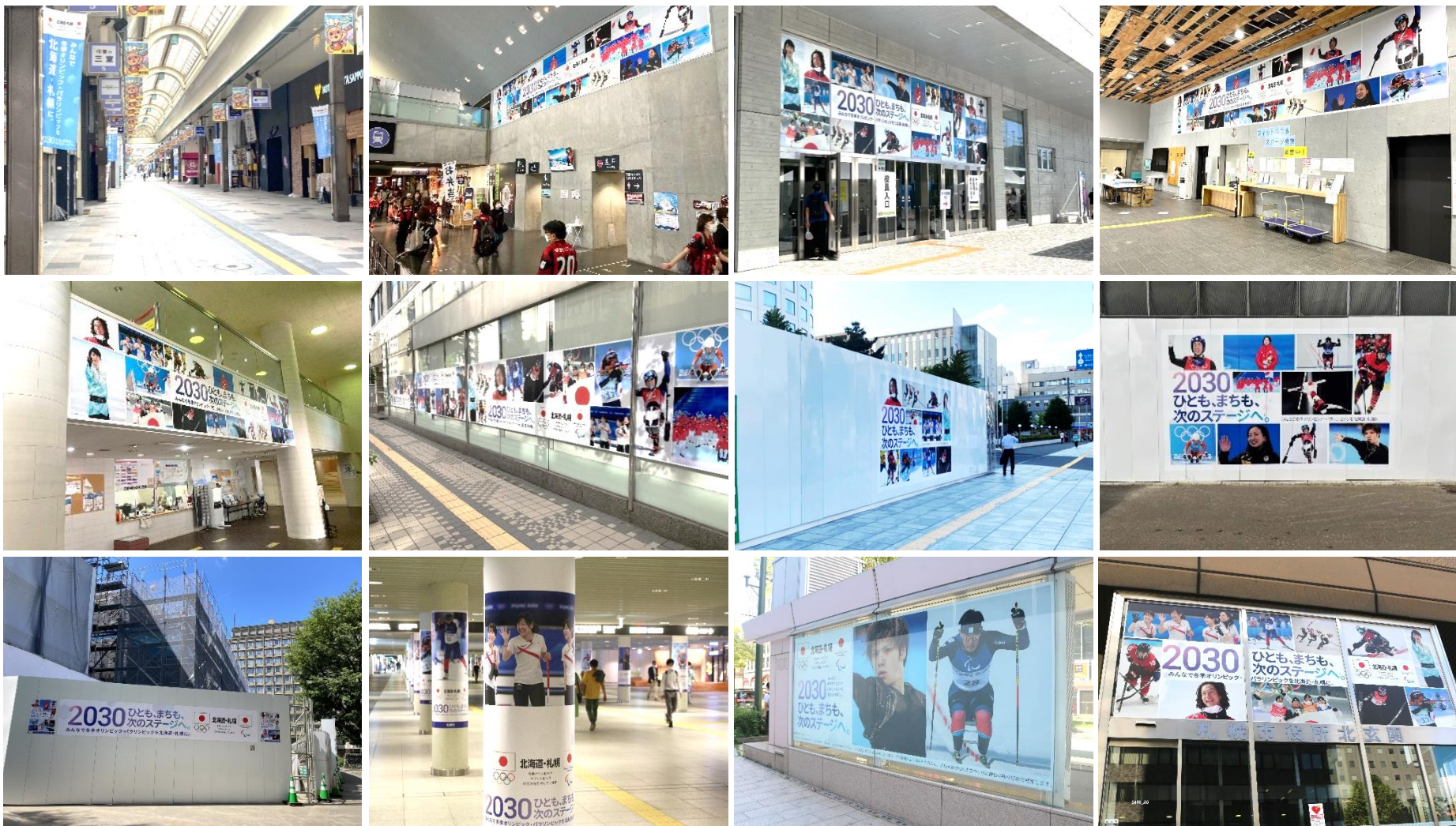


※当日飛び入りで招致PRにご協力いただいた小塚崇彦さん
(元フィギュアスケート日本代表)

■ 今後の主要イベントとの連携予定

- | | |
|----------|-------------------|
| 9/8 | サッポロスマイルデー【東京】 |
| 9/9-10/1 | さっぽろオータムフェスト【市内】 |
| 10/2 | 札幌マラソン【市内】 |
| 10/16 | 東京レガシーハーフマラソン【東京】 |
| 10/19-23 | NoMaps2022【市内】 |
| 11/18-20 | フィギュアNHK杯【市内】 |

市内各所における都市装飾



ワークショップの開催

■ 趣旨

- ・ 意向調査では、若年層から高い支持を得る一方で、「わからない」と答えた人の割合も高いことから、10～20代をターゲットとした取組が必要
- ⇒ オリンピック・パラリンピックについて議論し、開催意義や将来のまちの姿を若い世代に考えてもらう機会を創出することは非常に重要
- ⇒ 若い世代の意見を11月に公表予定の「大会概要（案）更新版」に盛り込むことで、市民がより共感できる計画を目指す。

■ 実施回数

- ・ 10月までに10～15回程度実施

■ 実施団体・対象者

- ・ 大学や専門学校、企業などの団体



※ 8月25日（木）に実施した学生ワークショップの様子
（札幌医科大学）

プロモーション委員会委員による機運醸成活動

- 狩野委員による体験型出前授業（8月24日（水）／札幌国際大学、附属認定こども園）



- 河合委員による特別授業（9/7（水）／澄川南小学校）



©アノリスポーツ/JOC

北海道・札幌2030オリンピック・パラリンピック招致応援大使（追加）

■ 目的

- ・大会の開催意義や開催によりもたらされる利益（効果・恩恵）などについて、情報発信等を行い機運醸成に資する。

■ メンバー（追加）

- ・プロモーション委員会の冬季アスリート委員に大使を依頼
⇒ 太田（渉）委員、岡崎委員、狩野委員、永瀬委員、原田委員（五十音順）



■ 活動内容

- ・大使個人のSNS等を活用した応援メッセージの発信や各種イベントへの出演などを通じて、対外的な情報発信の強化を図り、一層の機運醸成を推進

－ 次第3 機運醸成とメッセージ・スローガンの策定 －

メッセージ・スローガンの策定

策定の趣旨

- 「開催意義の取りまとめ」を踏まえ、理解促進や機運醸成の観点から、市民・道民・国民向けにメッセージ・スローガンを策定
- 当面の機運醸成への活用、大会概要（案）への反映、「狙いを定めた対話」移行後の国内外のプロモーションに活用

全体イメージ

プロモーション委員会の議論を踏まえた「開催意義の取りまとめ」

【メッセージ】

大会開催の方向性を短く平易な言葉で、わかりやすく整理したもの

【スローガン】 メッセージを踏まえ大会が目指す方向性を一言で語る

<参考例>

“Discover Tomorrow” [未来（あした）をつかもう]（東京2020招致）

ワーキンググループ（WG）の設置

- メッセージ・スローガンの策定及び活用方策を少人数で集中的に検討
- 大学生など外部メンバーも参画し、若い世代の声を反映

<メンバー構成（敬称略）>

プロモ 委員	木村 麻子【座長】	日本商工会議所青年部 筆頭副会長
	井本 直歩子	SDGs有識者
	永瀬 充	パラリンピアン
	原田 雅彦	オリンピック
	牧野 准子	まちづくり有識者
	マセソン 美季	パラリンピアン（IPC委員）
外部 メンバー	浅野 柊	学生向け2030大会ワークショップ参加者（大学生）
	鎌田 優月	札幌市まちづくり若者実行委員会（大学生）
	星野 幹宏	札幌商工会議所青年部 直前会長
	毛利 迅	札幌市まちづくり若者実行委員会（大学生）

インターネット投票（機運醸成への早期活用）

- 多くの市民・道民・国民の参画を得ながら機運醸成を図るため、スローガンの策定にあたり、3案程度を候補として「インターネット投票」を実施
- 投票結果を参考に、ワーキンググループで最終案を決定

<インターネット投票企画の概要>

【スケジュール】

- ・ 募集期間：令和4年9月下旬～10月上旬（2週間程度）

【投票方法】

- ・ 専用特設サイトを開設し、投票を受付。自由意見の記載も検討

策定後の活用について

- 策定後は、キービジュアルや動画、グッズ、メディア活用等による展開を検討
- 具体的内容については、プロモーション委員会やWGの意見も踏まえ実施

策定スケジュール

時 期	項 目	内 容
9月2日	第1回 WG会議	<ul style="list-style-type: none">・ 策定目的の認識共有・ メッセージ・スローガンの具体例を基にした意見交換
中旬 ～下旬	WG会議 (2回程度想定)	<ul style="list-style-type: none">・ スローガン案の絞り込み
下旬 ～10月上旬	インターネット投票企画	
中旬	WG会議	<ul style="list-style-type: none">・ 投票結果を踏まえたスローガン最終案の決定
10月27日	第5回プロモ委	<ul style="list-style-type: none">・ スローガンの発表 (※発表の方法等は調整中)